

所属名	事務事業名	ページ番号
森林整備課	林業団体支援事業	2
森林整備課	後継者対策事業	3
森林整備課	荒廃竹林整備事業	4
森林整備課	森林資源活用支援推進事業	5
森林整備課	民有林森林整備事業	6
森林整備課	森林浴セラピー事業	7
森林整備課	地域おこし協力隊事業	8
森林整備課	間伐等森林整備促進対策事業	9
森林整備課	富士大和森林組合経営改善計画支援事業	10
森林整備課	森林・山村多面的機能発揮対策事業	11
森林整備課	森林経営管理事業	12
森林整備課	林道維持管理事業	13
森林整備課	森林・林業再生拠点づくり事業	14
森林整備課	市有林造林事業	15
森林整備課	水源林造成事業	16

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	林業団体支援事業	事業期間	平成 18 ~	年度
担当部署・係名	森林整備課・林業振興係	担当課長名	副島淳一	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	05森林保全と林業の振興		
	基本事業	担い手の育成と確保		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	林業振興のため設立された団体の支援を行い、地域林業の発展を図る。				
事業の対象者	市民団体及び林業事業者				
令和2年度 主な活動実績	林業振興に寄与する林業振興団体の活動に補助した。 対象団体：8団体 佐賀市林業推進協議会、富士町生産森林組合連絡協議会、佐賀東部森林組合、富士町林業研究会、三瀬林業研究会、佐賀市婦人林業研究会、三瀬もりの会、林業女子会@さが				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,632				
うち佐賀市の負担額	1,632				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
活動目的を達成した支援団体						団体
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
8	8	8	8	8		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
団体の活動目的達成のため、より効果的な活動ができるよう助言、指導を行い地域林業の活性化に繋げる。

# 令和3年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	後継者対策事業	<b>事業期間</b>	昭和 53 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	森林整備課・林業振興係	<b>担当課長名</b>	副島淳一
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	05森林保全と林業の振興	
	<b>基本事業</b>	担い手の育成と確保	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	担い手の育成を図るため、林業振興活動及び林業事業体における雇用促進策に対し助成を行う。また、担い手の確保を図るため、林業就業体験研修を開催する。				
<b>事業の対象者</b>	森林組合員、林業就業体験研修応募者				
<b>令和2年度主な活動実績</b>	森林組合の雇用促進策へ助成。また、高校生等の若年者を対象とした林業就業体験研修を開催した。 対象団体：2事業体 富士大和森林組合、佐賀東部森林組合 林業就業体験研修会：3名参加				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	6,113				
うち佐賀市の負担額	3,514				

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
森林組合労務班員数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
22	21	25	25	25		

成果指標②						単位
林業就業体験研修参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3	20	20	20	20		

## 3 事業成果の振り返り

<b>成果目標の達成状況</b>	<b>成果目標の達成状況に対する分析</b>
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



<b>成果目標達成に向けた対応策等</b>
林業後継者の育成、確保を図るため、林業就業体験研修による若年層の新規就業を促進させ、森林組合と連携しながら魅力的で働きやすい労働環境づくりを行っており、今後も引き続き林業従事者の育成を図る。

# 令和3年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	荒廃竹林整備事業	<b>事業期間</b>	平成 23 ~ 令和 4 年度
<b>担当部署・係名</b>	森林整備課・林業振興係	<b>担当課長名</b>	副島淳一
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	05森林保全と林業の振興	
	<b>基本事業</b>	森林の保全	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	旧富士町、旧三瀬村管内の荒廃竹林について、伐採・整備することで、隣接した人工林への侵入竹林対策やたけのこ生産など有効活用を図る。				
<b>事業の対象者</b>	竹林所有者（旧富士町、旧三瀬村）				
<b>令和2年度主な活動実績</b>	荒廃竹林の伐採・下刈り・植栽等を実施した。 実施面積 下刈り：7.15ha 侵入竹伐採：0.36ha 植栽：1.00ha				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	1,961				
うち佐賀市の負担額	61				

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
竹林整備総面積						ha
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
8.51	7.15	1.25				

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

## 3 事業成果の振り返り

<b>成果目標の達成状況</b>	<b>成果目標の達成状況に対する分析</b>
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



<b>成果目標達成に向けた対応策等</b>
<p>本事業は、平成23年度から旧富士町・三瀬村の荒廃し利用されなくなった竹林の整備、有効な利活用を目的に事業を行ってきた。森林経営管理制度との整合を図るため、令和元年度から新規を中止し、令和4年度をもって本事業を廃止する。今後は、本事業の成果等を精査したうえで、新たに荒廃竹林整備事業を検討、実施していく予定。</p>

# 令和3年度 事務事業進捗報告シート

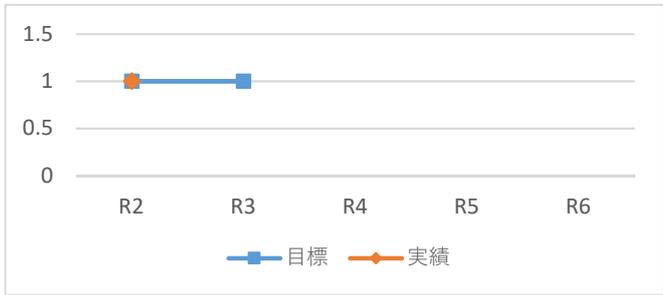
<b>事務事業名</b>	森林資源活用支援推進事業	<b>事業期間</b>	平成 23 ~ 令和 3 年度
<b>担当部署・係名</b>	森林整備課・林業振興係	<b>担当課長名</b>	副島淳一
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	05森林保全と林業の振興	
	<b>基本事業</b>	市産木材の利用促進	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	富士、三瀬地区における森林資源を掘り起こし、利活用を促進するために、特用林産物や市産木材などの有効活用を図る研究やモデル事業を支援する。				
<b>事業の対象者</b>	市民団体等				
<b>令和2年度 主な活動実績</b>	市産木材の利用推進を図るため、木工製品の開発、研究を行う団体へ補助を行った。 対象団体：1団体 NPO法人 みんなの森プロジェクト				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	500				
<b>うち佐賀市の 負担額</b>	0				

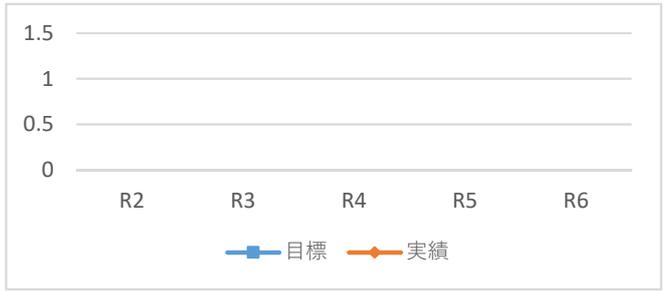
## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
林業振興団体						団体
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1	1					



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



## 3 事業成果の振り返り

<b>成果目標の達成状況</b>	<b>成果目標の達成状況に対する分析</b>
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



<b>成果目標達成に向けた対応策等</b>
<p>本事業は、平成23年度から令和2年度までの10年間で延べ19件の活動に助成してきた。森林資源の有効活用による林家所得の向上に向けた活動支援として一定の目的は達成されたことから令和3年度で事業を廃止する。</p> <p>今後は、本事業の成果等を精査したうえで、新たに森林資源の活用に対する支援事業を検討、実施していく予定。</p>

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	民有林森林整備事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	森林整備課・林業振興係	担当課長名	副島淳一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	05森林保全と林業の振興	
	基本事業	森林の保全	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	林業の振興・促進及び水源のかん養、水害・土砂災害の防備、生態系の維持、地球温暖化の防止など森林の有する公益的機能の高度発揮のため、森林組合等の事業主体で実施される森林整備や作業道開設の経費に対し助成する。
事業の対象者	市民（森林所有者）
令和2年度主な活動実績	森林組合等が実施する下刈・間伐等の森林整備や作業路開設に係る経費に対し、補助金を交付した。 助成対象面積等 人工造林：11.01ha 下刈り：21.11ha 枝打ち：1.86ha 間伐：51.56ha 作業道開設：9,147m

決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	7,014				
うち佐賀市の負担額	2,014				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
施業面積						ha
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	
85.54	160	165	170	170		

成果指標②						単位
作業路開設延長						m
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	
9,147	17,000	17,500	18,000	18,000		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
森林の更新・循環による適切な維持管理を図るため、森林施業に係る一部経費を助成することで、森林整備に係る自己負担を軽減し、間伐等適期の森林施業を促進する。

# 令和3年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	森林浴セラピー事業	<b>事業期間</b>	平成 25 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	森林整備課・林業振興係	<b>担当課長名</b>	副島淳一
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	05森林保全と林業の振興	
	<b>基本事業</b>	森林の保全	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	森林空間を利用した新たなサービス産業・ライフスタイルを創出し、地域の活性化を図るため、森林浴セラピーツアーを実施する。				
<b>事業の対象者</b>	市民				
<b>令和2年度主な活動実績</b>	夏・秋の森林浴体感ツアーの開催、スキルアップ研修会の開催、森林浴ロードの設定 実施内容 体感ツアー（1回開催、34名参加） モニターツアー（1回開催、27名参加） ガイド育成講座（修了者26名） ガイドスキルアップ研修（49名参加）				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	1,243				
<b>うち佐賀市の負担額</b>	43				

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
参加者数						人
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	
136	120	120	120	120	120	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	

## 3 事業成果の振り返り

<b>成果目標の達成状況</b>	<b>成果目標の達成状況に対する分析</b>
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



<b>成果目標達成に向けた対応策等</b>
<p>本事業は、森を楽しみながらこころと身体の健康維持・増進、病気の予防を行うことを目的として、森の中でヨガを行ったり、郷土料理の弁当を食べるなどのプログラムを企画して参加者を募っている。また、参加者へのストレスチェックも行っている。</p> <p>今後は、地域振興や森林環境教育等と連携した取り組みとして事業を検討する。</p>

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	地域おこし協力隊事業	事業期間	平成 26 ~ 年度
担当部署・係名	森林整備課・林業振興係	担当課長名	副島淳一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	05森林保全と林業の振興	
	基本事業	担い手の育成と確保	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	人口減少・高齢化等の進行が著しい本市に、都市部の人材を招致してその定着を図るとともに、森林・林業に活力を与え、地域の活性化等を促進するため、地域おこし協力隊員を任用して地域協力活動を行う。				
事業の対象者	富士地区の住民				
令和2年度 主な活動実績	本市及びニッポン移住・交流ナビのホームページや、佐賀県移住ポータルサイトへのリンク設定等にて招致活動を行った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	0				
うち佐賀市の 負担額	0				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
協力隊員数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
0	1	1	1	1		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
国の地域おこし協力隊の制度を活用し、富士地区に都市部からの人材を誘致し、その定住・定着を図ることにより、停滞している林業に活力を与え、地域の活性化につなげる。地域おこし協力隊は任期が3年間であるため、途切れることがないように継続して採用し、活動することにより林業及び山間地の活性化を図る。

# 令和3年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	間伐等森林整備促進対策事業	<b>事業期間</b>	平成 25 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	森林整備課・林業振興係	<b>担当課長名</b>	副島淳一
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	05森林保全と林業の振興	
	<b>基本事業</b>	効率的な供給体制の整備	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	需要に応じた低コストで効率的な木材の生産・供給を推進するため、高性能林業機械の導入を支援する。				
<b>事業の対象者</b>	林業事業者				
<b>令和2年度 主な活動実績</b>	高性能林業機械（フォワーダ1台）に要する経費に対し助成した。				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	15,120				
<b>うち佐賀市の負担額</b>	40				

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
森林整備面積						ha
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
85.54	160	165	170	170		

年度	目標 (ha)	実績 (ha)
R2	-	85.54
R3	160	-
R4	165	-
R5	170	-
R6	170	-

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

## 3 事業成果の振り返り

<b>成果目標の達成状況</b>	<b>成果目標の達成状況に対する分析</b>
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



<b>成果目標達成に向けた対応策等</b>
高性能林業機械の導入により、木材の安定した供給体制を強化するとともに、後継者不足により求められている森林施業の効率化・省力化を図り、魅力的な働きやすい環境づくりを支援する。

## 令和3年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	富士大和森林組合経営改善計画支援事業	<b>事業期間</b>	平成 28 ~ 令和 2 年度
<b>担当部署・係名</b>	森林整備課・森林管理係	<b>担当課長名</b>	副島淳一
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	05森林保全と林業の振興	
	<b>基本事業</b>	森林の保全	

### 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	本市の森林管理や林業などの木材産業の中核的な担い手である富士大和森林組合が、健全で安定した経営を継続していくために「経営改善計画」に基づき自らが行う経営改善に向けた取り組みを支援し、森林組合の経営基盤の強化と森林・林業の再生を図る。				
<b>事業の対象者</b>	富士大和森林組合				
<b>令和2年度 主な活動実績</b>	人材育成及び高性能林業機械リースに係る経費に対し支援した。				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	919				
うち佐賀市の 負担額	919				

### 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
森林組合員数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
1,613					

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

### 3 事業成果の振り返り

<b>成果目標の達成状況</b>	<b>成果目標の達成状況に対する分析</b>
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



<b>成果目標達成に向けた対応策等</b>
富士大和森林組合が、平成28年6月に策定した「経営改善計画」に基づく5年間の支援事業であり、令和2年度で事業終了となる。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

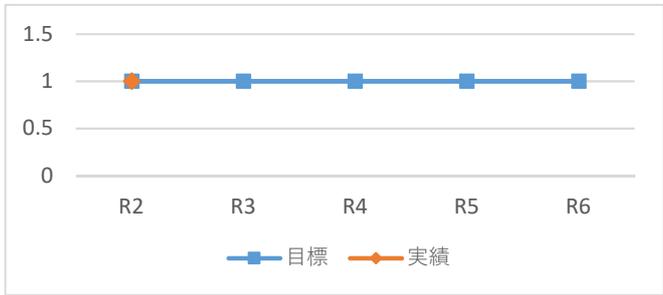
事務事業名	森林・山村多面的機能発揮対策事業	事業期間	令和 2 ~ 年度
担当部署・係名	森林整備課・林業振興係	担当課長名	副島淳一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	05森林保全と林業の振興	
	基本事業	森林の保全	

1 事務事業の基本情報

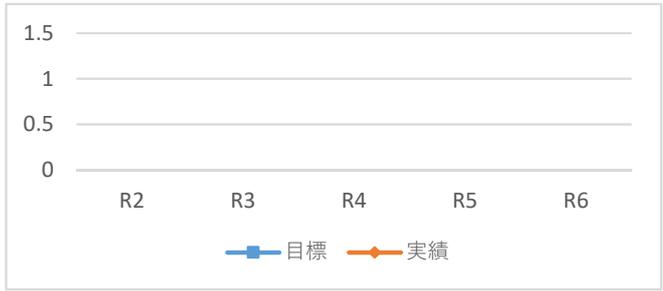
事業概要・目的	森林の有する多面的機能を発揮するため、市民団体等が行う荒廃した里山林の保全活動や侵入竹伐採等の荒廃竹林の整備活動、森林資源の利活用に係る伐採活動等を、佐賀森林山村対策地域協議会と合同で支援する。				
事業の対象者	市民団体等				
令和2年度 主な活動実績	市民団体等が行う荒廃した里山林の保全活動や、侵入竹伐採等の荒廃竹林整備活動に対する支援を行った。 対象団体：1団体 葉隠の杜活動組織				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	199				
うち佐賀市の負担額	199				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
支援対象団体						団体
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1	1	1	1	1		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
森林・山村の多面的機能の維持、向上を図り、自立的な山村の活性化を促進するため、市民団体等の活動を支援する。

## 令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	森林経営管理事業	事業期間	令和 1 ~ 年度
担当部署・係名	森林整備課・森林管理係	担当課長名	副島淳一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	05森林保全と林業の振興	
	基本事業	森林の保全	

### 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	森林経営管理法（森林経営管理制度）に基づき、手入れが行われていない森林を佐賀市が仲介役となり森林所有者と事業者をつなぎ、健全な状態に整備する。 また、森林環境譲与税を活用して森林整備や担い手の育成・確保、木材利用の促進や普及啓発に関する施策を展開する。				
事業の対象者	市民 林業事業者				
令和2年度 主な活動実績	森林経営管理法（森林経営管理制度）に基づき、森林の経営管理について森林所有者への意向調査及び森林整備、担い手の育成・確保やスマート林業化に関する事業を実施した。 また、新型コロナウイルス感染症対策として、森林整備事業の発注量を前倒しにより、林業経営体の雇用を確保するとともに、木材生産の採算性を確保するため、輸送に要する費用に対し助成した。				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	40,460				
うち佐賀市の負担額	0				

### 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
意向調査実施面積（累計）						ha
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,080	2,000	3,000	4,000	5,000		

年度	目標 (ha)	実績 (ha)
R2	1,080	1,080
R3	2,000	
R4	3,000	
R5	4,000	
R6	5,000	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

### 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
森林経営管理制度を推進し、森林整備を一層加速化する。 また、森林環境譲与税を活用し、森林整備、担い手の育成・確保及びスマート林業化を図る。

# 令和3年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	林道維持管理事業	<b>事業期間</b>	平成 25 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	森林整備課・基盤整備係	<b>担当課長名</b>	副島淳一
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	05森林保全と林業の振興	
	<b>基本事業</b>	効率的な供給体制の整備	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	既存林道が安全安心して通行できるよう林道の補修及び橋梁の点検補修等維持管理を行う。 管内林道：91路線、延長193,446m 管内橋りょう：49橋				
<b>事業の対象者</b>	市民及び林業事業者				
<b>令和2年度 主な活動実績</b>	林道除草業務委託41,675mを年2回 主要な林道パトロール18路線を年2回 法面・路肩補修工事5件 橋りょう点検5路線8橋				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	50,952				
うち佐賀市の 負担額	48,028				

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
橋りょう点検						橋
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
8	8	17	12	11		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

## 3 事業成果の振り返り

<b>成果目標の達成状況</b>	<b>成果目標の達成状況に対する分析</b>
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



<b>成果目標達成に向けた対応策等</b>
既存林道を安全に通行でき、林業の生産性向上のため、引き続き維持管理を行う。

## 令和3年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	森林・林業再生拠点づくり事業	<b>事業期間</b>	平成 25 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	森林整備課・林業振興係	<b>担当課長名</b>	副島淳一
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	<b>施策</b>	05森林保全と林業の振興	
	<b>基本事業</b>	効率的な供給体制の整備	

### 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	本市の林業及び木材産業の再生を図るため、需要に応じた安定的な木材の加工・供給が可能な貯木場や木材加工施設を整備する。(選木施設 一式、皮剥ぎ施設 一式、管理棟・作業棟 一式、貯木場 一式)				
<b>事業の対象者</b>	林業事業者				
<b>令和2年度主な活動実績</b>	富士大和森林組合が実施する木材加工流通施設の整備に要する経費に助成した。 実施内容 貯木場の拡張整備に対する助成。				
<b>決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	16,020				
うち佐賀市の負担額	20				

### 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
選木材積					m <sup>3</sup>
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
6,178	9,000	10,000	11,000	12,500	

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

### 3 事業成果の振り返り

<b>成果目標の達成状況</b>	<b>成果目標の達成状況に対する分析</b>
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



<b>成果目標達成に向けた対応策等</b>
木材の安定した供給体制を再構築するため、佐賀市富士町にある佐賀市木材供給センターを中心に、森林・林業再生の拠点づくりを推進し、市産木材の利用拡大を促進する。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	市有林造林事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	森林整備課・林業振興係	担当課長名	副島淳一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	05森林保全と林業の振興	
	基本事業	森林の保全	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市有林の財産管理を適切に行うとともに、森林の持つ水源かん養・国土保全など、多面的・公益的機能を確保する。				
事業の対象者	市民				
令和2年度 主な活動実績	分収林の主伐、再造林 実施面積等 主伐：1.00ha 植林：0.55ha 下刈：11.58ha 間伐：12.41ha 枝打：2.47ha 作業道開設：1,400m				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	17,570				
うち佐賀市の負担額	0				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
施業面積						ha
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
26	32	32	35	35		

年度	実績	目標
R2	26	32
R3	32	32
R4	32	32
R5	35	35
R6	35	35

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	実績	目標
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
伐採適齢期に達している市有林もあるため、間伐だけでなく、主伐を計画的に実施し、森林の更新・循環による適切な維持管理を図る。また、公益的機能の面からも適切な維持管理に努める。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

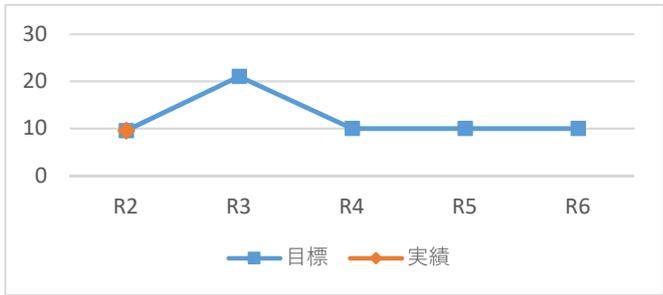
事務事業名	水源林造成事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	森林整備課・林業振興係	担当課長名	副島淳一
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	05森林保全と林業の振興	
	基本事業	森林の保全	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センターと分収契約を締結した市有林において、市が保育事業を行い、その費用については国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センターが負担し、市有林の適切な管理を行う。				
事業の対象者	市民				
令和2年度 主な活動実績	分収造林地の下刈り、間伐、除伐及び作業道開設等保育事業を実施した。 実施面積等 間伐：9.57ha 作業道開設：1,060m				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	6,678				
うち佐賀市の負担額	0				

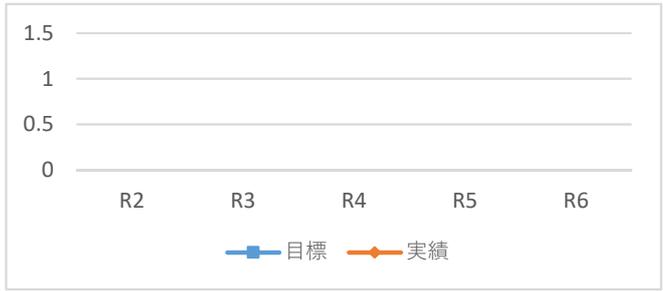
2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
施業面積						ha
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
9.57	21	10	10	10		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センターと、分収造林契約を締結している市有林の適切な維持管理を計画的に行う。また、公益的機能の面からも適切な維持管理に努める。